

9月20日の海外株式市場の下落について 中国当局の対応方針を見極める局面

2021年9月21日

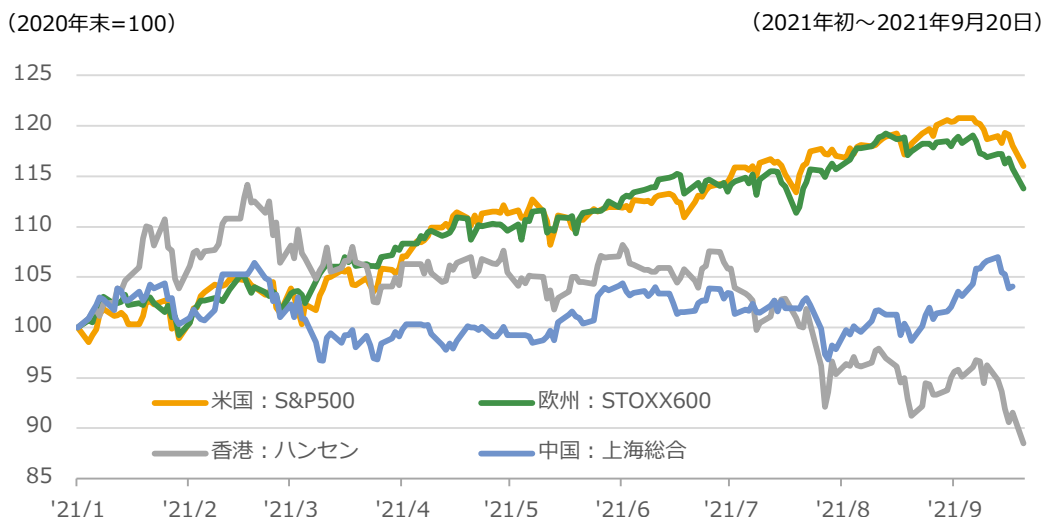
中国恒大集団への懸念で世界的に株式市場が不安定化

9月20日の海外株式市場は、2%前後下落する国・地域が多く見られました。不動産業を中心とする複合企業で香港市場に上場している中国恒大集団の資金繰り懸念が強まっており、債務繰り延べなどで信用不安が広がることを多くの投資家が警戒したようです。

直近の財務データによると恒大集団は約2兆人民元（1人民元＝17円として約34兆円）の負債を抱えており、うち半分程度が買掛金などの企業間信用、残りの半分が債券や融資による借入、あるいは不動産販売の前受収益などです。債券は海外投資家も保有しているとされており、債務再編等が行われた場合のグローバルな影響が懸念されています。

投資家の不安が高まっている背景としては、本件に対して中国当局の対応方針が明確に示されていない点も指摘できます。当局は不動産バブルや過度な拡張経営を抑制することを優先し、景気や株式市場への悪影響を容認しているのではないかと懸念が、投資家に生じていると思われます。しかし、中国指導部は今年後半の経済運営に関して景気重視の方針を示していることから、本件に関しても景気に過剰なストレスを与えるような措置がとられる可能性は低いと考えられ、債務再編等が実施されるにしても、二次的悪影響を抑制するような形で行われると想定されます。

■ 米国、欧州、香港、中国の株価指数の推移



※2020年末を100として指数化。中国：上海総合指数は祝日のため9月17日まで。

(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント